

お父さんへ

ラジオネーム：ふきのとう

お父さん、天国へ行きついたらかな。

何をするにもゆっくりとした動きで孫たちにからかわれていたり

したけど。実はお父さんの生き方そのものだったんだよね。

農業をやっていた我が家だったけれど、特別広い田畑を

持っていたわけではない。

お父さんは農業の傍ら、色々な仕事に出稼ぎにも行き、

時々の手伝い仕事などを黙々と続けて

僕たちを育ててくれたんだよね。

お母さんは何事もてきばきと片付けて行く性格だったけど、

お父さんは「何事も少しずつ、ちゃんとやって行くのが

大事だぞ」と言っていた。またこうも言っていた。

「俺はさ、特に頭が回るわけでもないし、器用なわけじゃ

ないんだ。だから一個、一個確実に確かめながらやらないと

落ち着かないんだよー」。

でも、そんなお父さんの穏やかな、でも懸命な姿は僕たちに

とても影響していたんだと思う。

近所の人からも、仕事で我が家を訪れた人達も「結局、あんた

のどこのお父さんが、何かと言つと信頼できるんだよねー」

僕と長女はそんなお父さんのやり方、生き方を受け継いだ感じ
でコツコツやるタイプかな。次男だけは何でも素早く、

「兄貴とか、お父さんのやること見ると、手早く
やろうぜとか思うんだよなー」と言ってよく笑っていた。

お母さんはまだまだ元気だから安心してね。

相変わらず暇さえあれば片づけ物や、掃除にと

動き回っているよ。当分、天国で会えないかもだよ。

おとうさん、ほんとうにありがとう。

リクエスト曲

∩ 縄のれん / 鳥羽一郎 ∪

父の好きな歌手です。